

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後 平成 21 年 3 月 日 作成
20年度決算把握後 平成 21 年 10 月 5 日 作成

事務事業名		結核予防事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	健康福祉部	課長名	中山輝一郎
	施策	15	健康づくりの推進	所属課	健康づくり推進課	担当者名	田中景子
	基本事業	44	病気の早期発見	所属班	健康推進班	(内線)	2167
				法令根拠	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律		

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了 <input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	8
	1	4	1	2	10366		コスト削減優先度評価結果	3

事業期間 単年度のみ 単年度繰返(開始年度 平成18 年度) 期間限定複数年度 (~ 年度)

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】
レントゲン撮影をすることにより、結核を早期に発見する事業
①65歳以上の市民の方を対象に、公立菊池養生園に委託し、養生園での撮影または各地域のコミュニティを健診車で巡回しての撮影となる ②委託料は、1件あたり680円 ③健診時期は、6月～8月、10月～11月

【業務の流れ】
公立養生園と委託契約、対象者特定のための電算処理、対象者へ通知発送、死亡者の抜き出し、通知不要者の入力、健診結果発送、請求支払い事務。

【主な予算費目】
賃金 費用 役員費 委託料

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		
① 手段(主な活動)	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 平成20年度同様、養生園での撮影または各地域のコミュニティを健診車で巡回してのレントゲン撮影を実施する。	
20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 間接撮影通知者数4501通発送。養生園での健診と同時実施またはコミュニティ巡回健診での結核健診受診者3551人受診。		
	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)	人
	→ ア 受診者数	イ
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)	人
65歳以上の方で、医療機関等でレントゲン撮影をする機会のない方	→ ア 65歳以上の住民で他に受診する機会のない方	イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)	%
健診を受診することにより、結核を早期に発見し、早期治療を受けることができる。	→ ア 要精密者の受診率	イ 結核の発見者数
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか)	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位)	%
病気を早期に発見できる。	→ ア 健康診査等への受診率	イ

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ～ 年度
投入量	事業費	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限定 複数 年度 のみ 記載) 0 0 0
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	2,300	2,347	3,347	2,963	3,182	3,182	
	(A) 事業費計	千円	2,300	2,347	3,347	2,963	3,182	3,182	3,182	
	うち指定経費	千円								
	うち時間外、特殊勤務手当	千円								
	人件費									
正規職員従事人数	人	2	1	1	1	1	1	1		
延べ業務時間	時間	320	320	320	280	320	320	320		
(B)人件費計	千円	1,270	1,274	1,274	1,114	1,274	1,274	1,274		
トータルコスト(A)+(B)	千円	3,570	3,621	4,621	4,077	4,456	4,456	4,456		
活動指標	人	3121	3347	3500	3548	3560	3560	3560	3560	
対象指標	人	4023	6480	6500	6000	6000	6000	6000	6000	
成果指標	%	0.2		100	88.2	100	100	100	100	
	人	0	0	0	0	0	0	0	0	
上位成果指標	%	38.9	36.9	45	31.4	49	55	55	55	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
昭和26年制定の結核予防法により健診の義務付け。ただし、対象者は、19歳以上であったが、平成17年の改正により65歳以上を対象とすることになった。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
平成17年度より、結核予防法の改正があり、対象者が19歳以上から65歳以上に変更となった。BCG予防接種についてもツベルクリン反応検査を廃止し、BCG接種のみとなった。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
法改正まで19歳以上を対象としており、毎年受診していた方が対象からはずれたことにより毎年レントゲンをとらなくてよいのかという問い合わせがあったため、生活習慣病健診受診時など、対象外の方は有料で撮影できるよう機会を設けた。

事務事業名	結核予防事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康づくり推進課
-------	--------	-----	-------	-----	----------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ 意図の「結核の早期発見・早期治療を受けることができる」ことにより、結果の「病気を早期に発見できる」ことに結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ 法律により、事業所・学校等で受診する機会のない方については、市町村長の責任で実施となっている。
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 対象、意図とも現状で妥当である。
有効性 評価	④成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 受診率 %、精密対象者 名、受診者3347名、結核発見者0名。精密検査受診者100%を目指す。検診受診者の固定化がみられるため、長期未受診者の方が受診できる体制について検討が必要。
	⑤廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 健診の機会を失くすことにより、結核の早期発見・早期治療ができないと結核の集団発生等につながる。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒(具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 他に類似事業がない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 最低限の事業費を充てているため
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 最低限の人件費で対応しているため
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 結核になる確率が高く、健診を受ける必要のある65歳以上の市民においては健診費用の負担はなく、それ以外の年齢の方で結核健診を希望する市民には、自己負担で健診の機会が確保されているため公平・公正である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性については、検診受診者の固定化がみられるため、長期未受診者の方が受診できる体制について検討が必要。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 結核や結核予防についての周知に努め、受診率や精密検査受診率の向上を図る。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上			○																			
	維持																						
	低下																						

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

結核や結核予防についての周知に努め、受診率や精密検査受診率の向上を図る必要がある。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	2	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	7	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)